

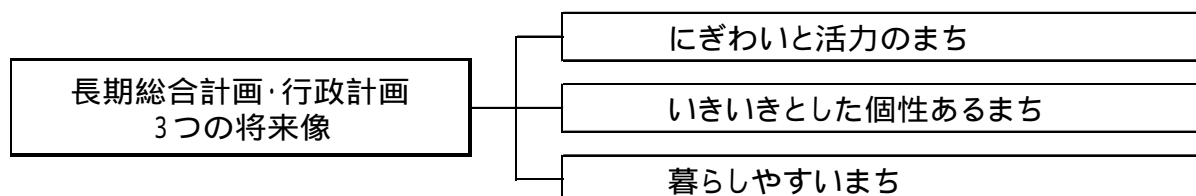
平成 26 年度予算案の概要

1 予算の基本的考え方

国は、平成 26 年度の経済見通しについて、好循環実現のための経済対策の推進等により、前年度に続き堅調な内需に支えられた景気回復が見込まれ、「好循環が徐々に実現していく」との認識を示しています。

区の財政状況は、歳入において、特別区税及び特別区交付金が 2 年連続で増加となるものの、国の税制改正の大綱に、区の歳入で大きな割合を占める特別区交付金の財源である法人住民税の一部国税化が盛り込まれるなど、今後の歳入への影響が懸念されます。一方、歳出では、生活保護や障害福祉サービスなど扶助費の増加への対応や保育の拡充、災害対策の強化、健康づくり施策の充実、区有施設の老朽化対策など、様々な行政需要を抱えており、依然として楽観できる状況ではありません。

こうした中、平成 26 年度予算は、前年度からの「将来を見据えた行財政基盤の強化に向けた取組み」や「予算編成区長プレゼンテーション」を実施し、全庁的な意識の共有化と庁内検討を重ねるとともに、長期総合計画の最終年度にあたり、施策や事業の目標達成に向けた編成に努めました。



2 平成 26 年度 各会計予算（案）

一般会計予算は、歳入歳出それぞれ 952 億円となり、前年度と比較すると 54 億円の増、6.0%の増となっています。

(単位:千円、%)

会計名	本年度	前年度	比較	増減率
一般会計	95,200,000	89,800,000	5,400,000	6.0
国民健康保険事業会計	23,714,000	23,354,000	360,000	1.5
後期高齢者医療会計	4,366,000	4,110,000	256,000	6.2
介護保険会計	13,951,000	13,457,000	494,000	3.7
老人保健施設会計	120,238	71,658	48,580	67.8
病院施設会計	261,910	331,733	69,823	21.0
合計	137,613,148	131,124,391	6,488,757	4.9